

2人に1人が がんと診断されています

ベルランド総合病院市民公開講座の今年のテーマは **がん** です。

現在がんの治療は、身体に負担の少ない手術や、副作用を減らす薬、
痛みを和らげる治療法などが登場し、常に進歩しています。

今回はその中でも「**ロボット手術**」「**転移性骨腫瘍**」に
スポットをあて、お話をさせていただきます。



ベルランド総合病院 第10回市民公開講座

来場無料

日時

2020年 **2/1**【土】

14:00 - 16:00

(開場 13:30)

※当日の混雑状況により、開場が早まる場合があります。

場所

堺市立東文化会館 5F メインホール

〒599-8123 堺市東区北野田 1084-136

★有料駐車場あり

南海高野線
北野田駅すぐ!

◎申し込みは不要です。
直接会場にお越しください。



ベルランド総合病院 第10回市民公開講座

来場無料



講演 1

手術支援ロボット da Vinci Xi

ベルランド総合病院 副院長・外科 部長 川崎 誠康

医学の進歩に合わせて、手術も高度な技術が求められています。消化器外科領域は、多くの術式が腹腔鏡手術に移行していますが、奥まった部位や密集した組織内に存在する病変に対しては限界があります。2018年に多種の癌手術に対して保険適応となったロボット支援手術では、高精度3Dカメラと手振れ補正機能付き多関節鉗子により、明瞭な立体的映像のなか安定した細かい操作を臓器に加えることが可能となり、根治性と安全性が向上することが期待されています。当院の最新型 da Vinci Xi ロボット支援手術の情報を共有いただくことで、ご自身やご家族様の健康維持にお役に立てれば幸いです。



講演 2

骨転移でも動けるために…『がんロコモ』のススメ その痛み、がんの痛みですか？

ベルランド総合病院 リハビリテーション科 部長 大島 和也

「がんだから仕方ない」「痛くても我慢」「動けないなら死んだ方がマシ」と思いませんか？骨転移でも「動ける」ために、がんでも「生活できる」ために、痛い原因、動けない原因を知って、がんロコモを解決しましょう。その痛み、がんだと思っていたら、骨粗鬆症や変形性関節症、痛風、抗がん剤の副作用のこともあります。がんを「治す」だけでなく、「動ける」にも目を向けてみませんか？「動ける」ことは、がんを「治す」ことにもつながります。「動ける」と生活できます。「動ける」って、幸せです。「動ける」ためのヒントをお伝えできれば幸いです。

生涯がんに罹患する
確率は

男性 62%
女性 47%

大阪における
がん検診受診率は
約 30 ~ 40%

がんの生存率は
多くの部位で
上昇傾向にある

測定コーナー
骨密度

◎ 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。



堺市立東文化会館までの
交通のご案内

大阪府堺市
南海電鉄高野線
「北野田駅」すぐ



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

地域医療連携室

TEL : 072-234-2001 (代)

後援 / 一般社団法人堺市医師会